

52 時間の停電に適應した強靱住環境について

2018 年 9 月 6 日 (木)

弊社の『現場適應性の高い強靱住環境』が 52 時間の停電に遭遇しましたが、快適な生活を過ごせることを実証しました。

台風 21 号の影響により 9 月 4 日 13 時半頃から関西電力管内では 200 万軒超が停電、弊社施設でも 6 日 17 時半頃までの約 52 時間停電しました。

今回報告させて頂く物件では、太陽光発電とエネファーム(ガス)のダブル発電に加え、可搬型の発電機も併用する 3 重の電力確保、多様な備蓄や調達手段の確立により 3 日の停電生活を快適に乗り切りました。

快適とは、エアコンや冷蔵庫を使い続け、朝は洗濯機、夜は給湯器を使い入浴するなど平時のリズムも崩すことなく、避難することなくいつものベッドで、エアコンの適温環境下で就寝していたことを指します。

東京消防庁の発表では熱中症搬送車の 45%は住居で発生、エアコンを使っていなかった事例が多く見られるとのことですが、停電においては熱中症リスクの高い悪環境が作られてしまいます。弊社の提案する住環境はエアコンが使える、冷蔵庫も使える、熱中症の要因は少なからず排除できていると考えます。

発電システムが無ければ乗り切れませんが、電力を上手に使わなければ生存性や快適性は高まりません。私たちはどのような工夫をしたのかを特設サイトにてご案内させて頂いておりますのでご覧頂ければ幸いです。



停電による臨時休業



太陽光発電のモニタ



可搬型発電機からの給電

現場適應性の高い強靱住環境

52時間の停電を快適に過ごしました。

停電中も電気製品が使用可

エアコン 冷蔵庫 洗濯機 給湯器 テレビ トイレ

52 時間の実録紹介サイト (http://www.nes-w.net/homecare/blackout_180904.html)

* NES 株式会社 : 強靱住環境, http://www.nes-w.net/homecare/blackout_180904.html